



博物館通信

春号

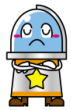
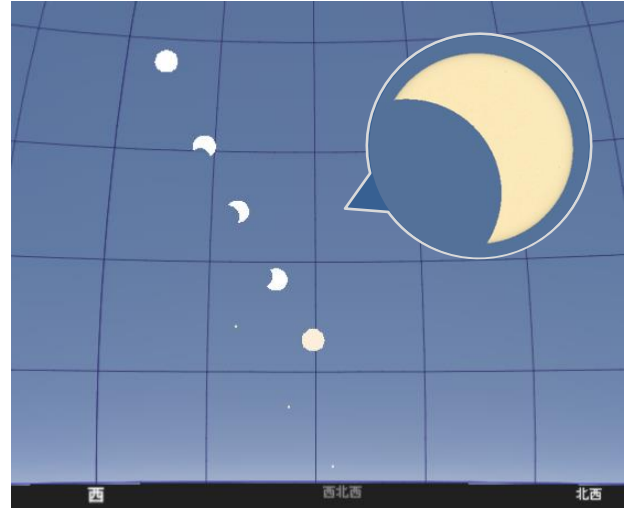


2020年4月発行 Vol.75

6月21日(日)に「部分日食」!!

今年の「夏至」にあたる6月21日に「部分日食」が起こります。昨年は、1月と12月の2回の部分日食が起こりましたが、どちらも天気が悪く残念な結果に…。今年、日本で見ることのできる日食は1回のみ。しかし、梅雨の時期…。晴ればいいのですが。今回を逃がすと次に岡山で見えるのは10年後の2030年!?

浅口市では、16時3分ごろから食が始まり、最も欠けるのは17時9分ごろです。その後、18時8分ごろに日食は終わります。



日食が起きる 太陽ってどんな星なの？



太陽を直接見てはいけません。
専用の日食グラスを忘れずに!!

大きさ

重さ

2×10^{30}

地球からの距離

温度

太陽は活動している？

太陽は、おもに水素やヘリウムといったガスでできている、自らが輝いている「恒星」です。

太陽の表面では、周りより温度が低いため黒く見える「黒点」や温度が高いため白く見える「白斑」、爆発現象の「フレア」、うすいガスの「プロミネンス」などいろいろな現象が起こっています。皆既日食のときには、太陽表面を取り囲むように広がっているうすいガスの「コロナ」を肉眼で見えることもできます。

太陽にシミ？

太陽の表面に現れ、黒いシミのように見える模様を「黒点」と言います。黒点は、約4000度と周りより温度が低いため黒く見えています。黒点の形や大きさは毎回違い、見えている期間も違います。

黒点の数は約11年の周期で増えたり減ったりしており、太陽活動が激しい「極大期」には黒点の数も多く、活動が落ち着く「極小期」には数が少なくなります。





国立天文台

188cm 反射望遠鏡

&

岡山天文博物館

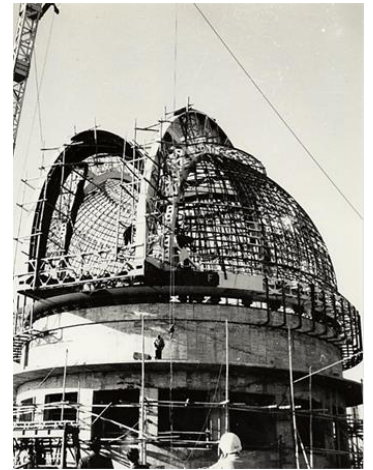
60周年



Part 1



博物館の隣には、国立天文台の 188 cm 反射望遠鏡と京都大学の 3.8m 望遠鏡の 2 つの大きな望遠鏡があります。その 1 つ、国立天文台の 188 cm 反射望遠鏡と岡山天文博物館は、今年で 60 周年を迎えます!!



1960 年 10 月 「東京大学 東京天文台 岡山天体物理観測所」として完成。

11 月 「岡山天文博物館」開館。

1962 年 本格的に観測が開始。

1988 年 東京大学から国立天文台の天文台「国立天文台 岡山天体物理観測所」へ。

2018 年 3 月 国立天文台のプロジェクトとしての利用は終了。

2018 年 4 月 大学研究者や浅口市が運用費を出しあい利用開始。

完成当時、東洋一の大きさをほこる 188 cm 反射望遠鏡と国産初的大型望遠鏡 91 cm 反射望遠鏡を備えた天文台でした。のちに、65 cm クーデ型太陽望遠鏡や 50 cm 反射望遠鏡も作られ、多くの研究がされてきました。

60 年たった現在も国内で 3 番目の大きさをほこる 188 cm 反射望遠鏡で、様々な国の研究者が日々観測を行っています。これまでに 188 cm 反射望遠鏡で、“国内で初めての太陽系外惑星の発見”や“約 131 億光年かなたの星の光を観測”などの成果があります。



大事なお知らせ



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館していましたが、

5月28日(木)より開館します。

プラネタリウムおよび4次元デジタル宇宙シアターは

6月2日(火)より再開します。

なお、入館およびプラネタリウム等の見学については、
人数制限等の条件を設けさせていただきます。

ご理解とご協力をお願いいたします。

※今後の状況により、開始時期などが変更することがあります。

ご来館の際にはご確認をお願いいたします。



プラネタリウム番組

6/2(火)より再開

※人数制限を行います。

※開始時間などは当館 HP でご確認ください。

※再開時期が変更になる場合があります。



「宇宙のふしぎ

もしも!宇宙が〇〇だったら!？」

岡山天文博物館

〒719-0232

岡山県浅口市鴨方町本庄 3037-5

TEL/FAX 0865-44-2465

<http://ww1.city.asakuchi.okayama.jp/museum>

